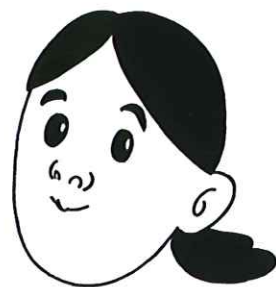


葛飾区議会議員

みずま雪絵の 区議会レポート

号外②



〒125-0063 葛飾区白鳥 3-26-13 中村荘 101

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP <http://mizuma-yukie.org>

いのちとくらしが最優先

働く人を大切にする区政を

みずま雪絵の政治活動の原点は、区内で介護職員として働いてきた経験から感じたことです。働く人が安心して働き続けられなければ、安心安全なサービスが難しくなると考えています。

これまで、区議会では介護従事者の処遇改善を求めてきました。今年の一回来例会では、◎介護従事者への区独自施策として、住宅費の負担軽減(住宅手当等補助)施策を行うこと◎国に対し、交付金のような保険料や利用料に跳ね返らない形での処遇改善に係る財源確保をするよう求めることを一般質問の中で取り上げました。



前期実施計画(案)に新規事業「介護人材確保調査」

区の施策が介護職員の確保や定着に、効果的なものとなっているのか、区内介護事業者にアンケート調査をするよう求めてきました。葛飾区では、合同就職相談会や資格取得に係る費用の助成等が行われてきています。調査をとおり、職員の定着率や現場の課題など、そこで得られた結果から、区の施策の評価や更なる施策検討に繋げるためです。

2021年度～2024年度に取り組む具体的な事業内容の年次計画である葛飾区前期実施計画(案)に、新規事業として介護施設等にアンケート調査をする「介護人材確保調査」が加えられました。

みずま雪絵のプロフィール

1984年お花茶屋生まれ

区立上千葉小学校 区立青葉中学校卒業

都立墨田川・堤高校卒業 東京福祉専門学校卒業

2004年～葛飾区内の介護老人保健施設・訪問介護事業所に勤務

2013年～葛飾区議会議員 2017年～2期目

★介護福祉士 ★ユニオンネットお互いさま副委員長 ★趣味：ソフトボール



羽田空港新飛行ルート 都心上空の低空飛行は見直しを

昨年3月29日から、羽田空港新飛行ルートの運用が行なわれています。運用開始後、区民から騒音や予定ルートを外れていること等について、区へ苦情や問い合わせがありました。それを受け、葛飾区は昨年7月10日に国へ申し入れを行ないました。

その後、国から新飛行ルートについて説明がされ、葛飾区は、新ルートを遵守した運航、航空機騒音の低減と測定、落下物対策について要望をしてきました。昨年12月と今年2月に国による騒音測定(ともに上平井中学校)、区による今年2月の騒音測定(幸田小学校・東四つ木工場ビル)が行なわれました。

ここでの測定値は、対策をする必要がないと判断する値になったとの報告でした。しかし、測定値の計算方法は音の大きさ、継続時間、発生した時間帯で評価するため、瞬間的に大きな音がする時の私たちの体感とは、ズレがあるのではないのでしょうか。



区は、国へ騒音測定の継続実施と評価及び公表、落下物対策等を含む安全管理、新ルートを遵守した運航を要望し、今後、区においても、騒音測定を継続実施することになっています。

騒音や落下物の危険があり、区から国へ対し、首都圏上空ではなく海上への離発着ルートの徹底を求めることが必要ではないかと昨年第1回定例会から議会質問で取り上げてきました。

今後、コロナ禍が収束してからの、騒音や落下物の影響が心配です。住宅が密集する都心を低空飛行するルートは見直し、元の海上を離発着するルートに戻すことが、区民の安全にも繋がると考えます。



みずま雪絵のホームページ
過去の議会レポート等をご覧ください。
右のQRコードをスマホ等で読み込んで下さい。



大切なペットたち

ワンちゃん猫ちゃんは災害弱者



近年、毎年のように各地で大災害が多数発生しています。今年の8月にも九州から東海地方まで広範囲にわたって豪雨が発生し、大雨特別警報が発令されました。

葛飾区は、いざ災害に見舞われたら、大きな被害が予想される地域です。災害対策には力を入れていかなければなりません。

では、ペットのいる家庭では、どのように避難したらいいのでしょうか？

避難所へは、同行避難が原則です。葛飾区の出している「避難所における動物飼育のガイドライン（令和2年修正）」には、①ペットは他の避難者のいる部屋には入れず、定められた場所で生活する、②飼い主はケージあるいはキャリーバックを持参する、③フンの処理は飼い主が行い、飼育場所の設営や清掃、廃棄物や汚物の処理は飼い主の皆さんが協力して行う、などの記載があります。もちろん、フードやリード、ペットシートなどに加え、常用薬などは持参しなければならないでしょう。また、葛飾区では防災広報葛飾「ペットと防災」など、動画による広報も行なっています。

しかしながら、ペットを抱えての避難や、避難所で他の飼い主さんと一緒に飼育場所の設営を行うなど、多くの対応が飼い主さんには求められます。

コロナ禍によるストレスも原因となって前年比10数%増のペース（2019年～2020年）で、ワンちゃん、猫ちゃんが家族として迎えられており、いざという時、たくさんさんのペットたちが避難所にやってくるでしょう。

ペットの避難をなるべく確かなものにするためには、日常的な避難訓練が必要になってきます。ペットだけでなく、乳幼児や子ども、障がい者やお年寄り、外国人や傷病者など、社会的弱者の生命を守り、地域の防災・減災を実現するためには、情報の発信と共に、具体的な避難訓練実施に向けた道筋をつけるために、行政は力を尽くさなければならないだろうと思います。

**みずま雪絵は、1人でも入れる労働組合ユニオンネットお互いさまの一員です。
職場で困ったときに助け合うのはお互いさまです。**



介護労働者だった経験をもとに、葛飾区議会の活動を行い、また、労働争議の現場に足を運び、働く人の支援をしています。働く人を大切にする葛飾区を目指し、安心して働き、生活できる社会を葛飾区からつくっていきます。

葛飾区に思うこと ～地域の方から届いた声～

コロナ禍で、小学校でのクラスターのリスクなどの観点から、オンライン授業や分散登校などあれば安心だが、フルタイムで働いているため、まだ低学年の子どもを日中長時間家に置いておくことができません。

先生方、生徒がお互い安心して過ごせるように、定期的な PCR 検査の実施を希望します。



放課後子ども事業（わくわくチャレンジ広場）の児童指導サポーターの担い手が少なくなっている。報償費の引き上げをしてもらいたい。

一昨年「シルバー人材センター」に登録したとき、私は、植木の剪定を出来たらと思い、申し込みました。しかし、自転車に乗れないこともあってか仕事の割り振りが殆ど無かったです。他にも条件の良い職場は回ってこず、2年間で、登録をするのを辞めてしまった。



ひとこと

学校での感染リスクは、最小限にする必要があります。家庭の状況を考慮したオンライン授業や分散登校等を行うことが求められていると思います。PCR 検査の実施と合わせ、区に求めます。

わくわくチャレンジ広場で人手不足となっている児童支援サポーターの報償費引き上げは、必要だと考え、議会でも取り上げてきました。また、シルバー人材センターについては、「働き続けられる」ことが、登録する人にとっては重要なことで、その環境や条件を整えることが必要だと考えます。

みずま雪絵さんを応援しています

福島みずほ(参議院議員)

山本太郎(元参議院議員)

瀬戸大作(反貧困ネットワーク事務局長)

いちごとくらしが最優先!



区政/生活/労働 etc お気軽にご相談下さい。
問い合わせは、みずま事務所 TEL・FAX・メールからお願い致します。